

福 井 県 医 師 会

だより

第715号 令和3年(2021)1月

新 春 特 集 号



黄山の朝（安徽省）

福井市 吉村 信

表紙写真説明：黄山の朝（安徽省）

福井市 吉村 信

黄山は、1990年12月にユネスコの世界文化自然遺産に登録された中国有数の景勝地区で、どこにカメラを向けても青緑山水画そのままの絶景がレンズに飛び込んでくる。雨の下界を早朝ロープウェイで登頂すると、雲上は晴れで、黄山三絶「奇峰」「奇松」「雲海」を一枚の写真にとらえることができた。例えようのないその美しさは、日本の宮城県の松島をそのまま1,800m雲の上に引き揚げた風景と表現出来ようか。

## 新年のご挨拶

福井県医師会長 池端幸彦

新年明けましておめでとうございます。

例年であれば、このあと「福井県医師会会員各位におかれましては、健やかな新年をお迎えることと…」とお決まりの言葉が続く事になるのですが、ご承知の通り2019年12月中国湖北省武漢市から始まったCOVID-19は、瞬く間に世界中に拡散し、国内においても2020年3月下旬から患者数が急増、国内外とも年末に至ってもその感染の勢いがとどまる傾向が見いだせず、昨年とはかつてない大変な一年となっていました。県内においても、一時は医療崩壊も危惧される状況にまで至りましたが、こうして何とか新年を迎えることが出来た事を素直に喜びつつ、COVID-19に対する外来・入院診療体制、検査体制等を含めて様々な方面でご協力頂いた多くの会員そして会員医療機関の皆様方に、改めて心より御礼申し上げたいと思います。

私自身も、よもや会長職就任一期目にして、このようなパンデミックの陣頭指揮を迫られる事になろうとは夢にも思わず、自分の運の無さを憂いた時期もありました。しかしこれも天が与えた私への試練と受け止め、とにかく今自分に出来る事を精一杯頑張ってきたつもりですが、まだまだ力足らずでご迷惑をお掛けしたことも多かったと反省しております。

このように昨年はコロナに明けコロナに暮れた1年間でしたが、恐らく本年もまたコロナ禍対応を余儀なくされる事態が続くことになろうかと思えます。しかし一方でまた医療界には、後期高齢者の窓口2割負担、大病院の外来定額負担、本年4月からの健康保険証のオンライン資格認証制度の本格導入、更には来年4月の診療報酬改定に向けたオンライン診療や不妊治療

の保険適用問題、5疾病5事業に新たに加えられることになった「新興・再興感染症」への医療提供体制を含めた新たな地域医療構想の体制づくり等、本年もまた非常に重要な課題が目白押しであります。はからずも私は、これらの案件に深く関わる事になる中央社会保険医療協議会（通称：中医協）や社会保障審議会医療保険部会の委員も拝命しておりますので、私の会長就任時のモットーでもある『Act Now for the Future ～未来のための今～』の精神で、会員各位のご意見を十分踏まえながら、現在そして未来の会員のため国民のために、しっかりと議論を重ねていかねばと決意しております。

さて残念ながら昨年実施が延期された東京オリンピック・パラリンピックですが、いよいよこの夏、再度開催にチャレンジすることになります。世界中の感染拡大が未だ終息する傾向をみせず、ワクチン接種も途に就いたばかりの現状では、とても今までの様な華やかで盛大な世界の一大イベントとしての大会が通常通りに開催出来るとは思えません。

しかし昨年末、久々に我が国の明るいニュースとして大きく取り上げられた、「はやぶさ2」が見せてくれた52億km超となる長旅後の「玉手箱」カプセルの地球帰還は、多くの日本人に勇気と希望を与えてくれました。津田雄一プロジェクトマネージャーの言葉を借りれば、「自己採点は、100点満点中で10,000点!!」と言い切ったこの偉業を、アメリカ合衆国の10分の1以下の極めて少ない予算で達成してしまった不屈の日本人魂で、どんな形でもいいので何とか五輪開催にこぎ着けられれば、きっとまた元気な日本を取り戻せるし、別の意味で世界中を大きく沸かせる大会になると信じたいと思います。

